

日時

6月5日



Melody for Prayer

未曾有の大地震と大津波に襲われた東日本大震災。
今回の東日本大震災による被災を受けられた方や災害復興に尽力されている皆さんに向け、ひと時のやすらぎの音楽と、フォーラム「いのちの話」では、今回の大震災に思うこと、生や死をどう考えたらいいのか？人はどう生きていきたいのか？を、来場者のみなさんと一緒に考えたいと思います。この催しが、来場者のみなさんにとって癒しや生きていることの意味を少しでも感じていただける機会になれば幸いです。

入場無料

いのちの話と祈りのコンサート

地元で活動されている音楽家による「祈りのコンサート」をはさんで、フォーラムでは、地元遠野の千葉教子さん。関西から尾角光美さん、秋田光彦住職さんをお招きし、お話をうかがいます。引き続いて5人による座談形式で「いのち・寄り添うこと」をテーマに会場のみなさんと一緒に考えてみたいと思います。



Mitsuhiro Akita



Noriko Chiba



Terumi Okaku



Kunio Ito



Joji Yamasaki

会場

遠野市民センター 中ホール

※イベント概要・詳細は裏面をご覧ください

◆ 開場 11:00

「手元供養」と「葬送関連情報」の展示と個人相談

ご遺骨の一部を偲びや供養の対象とした「手元供養」は、大切な人を亡くされた方にとって、癒しや心の支となる新しい供養として注目されています。この手元供養品の実物展示とともに、「葬送に関する総合的な情報」をパネル展示しています。コンサートまでの間、会場に設置しました手元供養品や葬送関係の情報ボードをゆっくりご覧下さい。また、個人相談コーナーを設けていますのでお気軽にご相談ください。

◆ 開会 12:30

「コンサート I」12:30~13:00

ご案内：千葉教子さん（コンサートI・II）
演奏：ピアノ 高木香織さん
ヴァイオリン 伊禮しおりさん
ソプラノ 山本恵子さん
曲目：アベマリア、夏は来ぬ 他

フォーラム「いのちの話」13:05~14:45

- ①特別企画への思い（NPO手元供養協会会長山崎 譲二）
- ②トーク・スリー
千葉教子さん、尾角光美さん、秋田光彦さんの順で（各15分）
- ③座談「いのち・寄り添うこと」
山崎さん司会で、トークいただいた3人に伊藤邦男さん（地元NPO手元供養協会会員）が加わり計5人で座談。

「コンサート II」15:00~15:30

曲目：遠野の里のものがたり 他



■ 講演者紹介（プロフィール）

秋田 光彦（あきた みつひこ）氏

浄土宗大蓮寺住職、應典院代表。1955年大阪市生まれ。

明治大学文学部卒業後、映像プロデューサーとして「アイコ16歳」などのヒット作を製作、情報誌「びあ」の編集も。

その後、知恩院での修行を経て大阪の自坊に戻り、寺を地域での文化、社会活動の拠点に開放。

1995年1月17日阪神大震災が発生。以降半年間震災の救援活動に従事、この体験から多くのことを学ぶ。

著書に「葬式をしない寺」（新潮新書）共著に「地域を活かす つながりのデザイン」（創元社）「日本人と死の準備」（角川SSC選書）「生命と自己」（慶應義塾大学出版会）など。

千葉 教子（ちば のりこ）氏

昭和11年5月23日生まれ 昭和43年11月遠野に住まいする。

昭和47年5月 有限会社グランドインテリア 代表取締役社長

昭和52年 遠野物語ファンタジー「でんでら野の夜明け」ナレーター及びメイク担当以来30年遠野物語ファンタジーに関わる。

平成9年 「お寺でオペラのコンサート」開催 万通寺において藤原歌劇団当重茜（メゾソプラノ）を迎え、地元音楽教室の生徒と共演し大きな好評を受ける

平成12年 遠野物語ファンタジー「蓮華淵の子守唄」演出 ・平成12年～15年 国税モニター

平成14年1月 有限会社グランドインテリア 代表取締役会長

平成14年～16年 遠野市男女共同参画座長 ・平成14年 遠野市都市計画審議委員

平成17年12月2日 前JICA専門家ケニア在住岸田袈裟先生をお招きして、新生「遠野市」祝賀記念講演をふれあい交流センターで開き、

遠野の文化が世界で大きく羽ばたいている話を200名の市民が聞く。市民として遠野に誇りを持つことができた。

現在、遠野在住の音楽・絵画アーティストの育成に大きな期待と情熱を寄せている。

尾角 光美（おかく てるみ）氏

2002年都立国際高等学校（国際学科）卒業。2003年3月に母を自死（自殺）で亡くす。4月に同志社大学に入学。

2004年よりあしなが育英会を通じて、グリーフケア活動を行う。テロや戦争などで親を亡くした世界の遺児と日本の遺児たちを対象としたキャンプの代表などを務める。

2006年より「自殺対策基本法」成立を受けて、自殺対策関連の講演、中学、高校での「いのちの授業」やお寺や僧侶を対象として研修、ワークショップ等に取り組む。2008年「101年目の母の日～今、伝えたい想い～」文集を手刷りで母の日に発刊。

母の日の原点の認知を広めるとともに、大切な人を亡くした人が必要なサポートを受けられる社会づくりを目指す活動をしている。

同年 京都青年会議所主催「第五回京都学生人間力大賞」で「京都市長賞」受賞。2009年 任意団体Live on（リヴオン）を立ち上げ、

4月に『102年目の母の日～亡き母へのメッセージ～』（長崎出版）を上梓。同年9月より自死遺児支援"YES for Life"を開催している。

伊藤 邦男（いとう くにお）氏

1954年 遠野市生まれ

2010年7月7日 「手元供養のすすめ」を読んで覚醒、37年間の遠野市役所勤務から転身、岩手初の手元供養専門店「手元供養 興福舎」を起業する。

興福舎舎長「手元供養は地域づくりにも関わる新しい文化になり、悲嘆にくれる人を救う力がある」と、手元供養が適職の日々を楽しんでいる。

山崎 譲二（やまさき じょうじ）氏

1949年 松山市生まれ NPO手元供養協会会長

2005年NPO手元供養協会を設立。会員のボランティアで手元供養文化の普及や新しい葬送情報の提供活動をしている。

著書に「手元供養のすすめ・お墓の心配無用」（祥伝社新書）、共著「自分らしい葬儀とお墓の全てが分かる本」（三省堂）

イベント概要

主 催：NPO手元供養協会

日 時：2011年 6月5日（日）（11：00～16：00）

会 場：遠野市民センター 中ホール
遠野市新町1番10号 TEL 0198-62-4411（代表）

交 通：JR遠野駅から徒歩6分（500m弱）
公共駐車場あり（有料）

参加者：100席ご用意しています（事前申込み不要）

参加費：無料

協 賛：社団法人釜石地区法人会遠野支部

釜石地区法人会女性部会

千葉 教子氏（有限会社 グランドインテリア会長）

後 援：遠野市倫理法人会



NPO手元供養協会

<お問い合わせ先>

■【NPO手元供養協会事務局】 協会会長 山崎 譲二 <http://www.temoto-kuyo.org/>

京都市南区吉祥院内河原町3番地-103（有）博國屋内 TEL 075-315-3370

Eメール: joji@pf7.so-net.ne.jp

■【遠野事務局】 遠野市青笹町青笹13-8-8 興福舎舎長 伊藤 邦男（NPO手元供養協会会員）

TEL 0198-63-1108 Eメール: koufukusya@tonotv.com